

2023年度 法科大学院

第4期入学試験問題

2時限

民法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

Aは、その配偶者Bの請求により、補助開始の審判を受け、その補助人としてBが付された。それとともに、Aが代金10万円以上の売買契約をするにはBの同意を得なければならない旨の審判とAのために代金5万円以上の売買契約をするについてBに代理権を付与する旨の審判を受けた。

Aは、自己所有の中古車甲を、近所に住むCに売却しようと思い立ち、Cに会いに行った。Aは、Cに、自己の自動車運転免許証（ゴールド免許）と甲の自動車登録証を見せ、甲を20万で売りたいと言った。Cは、Aが甲を毎日通勤で使っているのを知っていたので、Cがゴールド免許を取得していることに感心するとともに、甲は時価30万円ほどであると見積もって、それを代金20万円で買えるとは超お買い得だと思った。しかし、Cは、週末になると、Bが甲を運転して買い物に出かけるのも知っていたので、Aに、「Bも甲をひんぱんに使っているようだが、甲を売ることにについてBに許しを得ないでいいのか？」と聞いたところ、Aは、「わざわざ自動車登録証を見せたのに分からないのか。自分の物を売るのに何でBの許可がいるのか。」と半ば怒って答えた。結局、AとCは甲を代金20万円で売り買いする契約を締結し、数日後、AはCに甲とその移転登録に必要な書類を引き渡し、CはAに代金20万円を支払った。

Aは、受領した金銭の全てをその日のうちに、自分が趣味で集めているフィギュア人形（代金13万円）とそれらを陳列するためのガラスケース（代金7万円）に費やしてしまった。Aがフィギュア人形をガラスケースに陳列し、悦に浸っていたところ、折からの大地震でガラスケースは粉碎したが、フィギュア人形はどうか無事であった。

以上の事実を前提に、Bは、Cに対し、どのような主張ができるか。これに対し、Cは、どのような反論ができるか。理由を付して説明しなさい。